

概要説明書

事務事業名	教育コンピュータ活用事業(中学校)	体系コード	42122-04
主管課	学校教育課指導担当		

(単位:千円)

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託業務 (委託先: 東芝情報機器株式会社)		
	<input type="checkbox"/> 補助金 【 <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 】 (補助先 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> その他 ()		

事業		詳細内容	平成23年度 決算見込額	平成24年度 予算額
コンピュータ整備	消耗品	コンピュータ用消耗品の購入に関する事	1,370	440
		消耗品の購入に係る事務 インク・トナー等	1,370 (需用費)	440 (需用費)
	インターネット	インターネットの利用に必要な手続きに関する事	394	258
		インターネット回線使用料の支出事務 (Bフレッツ)	250 (通信運搬費)	136 (通信運搬費)
		プロバイダ契約及び接続利用料の支出 に係る事務(ぷらら)	144 (使用料)	121 (使用料)
	コンピュータ維持管理	コンピュータの不具合への対応等、コンピュータの維持管理に関する事	739	370
		コンピュータの保守に関し、専門業者への委託に係る契約及び支出事務	739 (委託料)	370 (委託料)
	コンピュータ及び周辺機器の借上げ	教師用、PC教室用、特学用、ことばの教室用コンピュータの借上げに関する事	5,095	8,306
		機種を選定に係る事務 ・学校におけるPC教育のニーズを取り入れながら、より適切な機種、機材、学習ソフトの導入を図る。	—	—
		リース契約及び支出事務	5,095 (借上料)	8,306 (借上料)
事業費計			(a) 7,598	9,374

平成23年度人件費相当額 (算出根拠については、事務事業評価シートを参照)	(b) 1,271	
---------------------------------------	-----------	--

本事業に係る費用の計	(a)+(b) 8,869	
------------	---------------	--

事業の必要性 (事業規模の縮小や休廃止した際の影響等)	<p>情報化に対応した教育環境を整備し、コンピュータ教室をはじめとする情報機器の整備・充実を図ることは、生徒の学力向上を目指す上で、極めて重要であると考えられる。</p> <p>ICTの活用する能力は、知識基盤社会を生きる子どもたちにとって、必須な技能であると考えられる。</p> <p>また、ICT機器を用いた業務の効率化をはかることにより、業務を軽減し、教員が教育活動に携わる時間を確保することができる。</p>
--------------------------------	--

概要説明書

町における 類似事業	教育コンピュータ活用事業(小学校)												
比較参考値 (他自治体の 状況・ベンチ マーク等)	<p style="text-align: center;">近隣自治体の教育用コンピュータに関わる費用(一校あたり) 単位 千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">A市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">6,590</td> <td rowspan="4" style="padding: 10px;">寒川町(中学校)</td> <td rowspan="4" style="padding: 10px; text-align: center;">2,532</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">B市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">5,320</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">C市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">4,378</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">D市</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">6,481</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">IT新改革戦略(平成18年1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室において、プロジェクタ、PC、無線LANの整備 ・生徒3.6人に対して1台のPCの整備 ・教員一人に1台のPCの整備 	A市	6,590	寒川町(中学校)	2,532	B市	5,320	C市	4,378	D市	6,481		
A市	6,590	寒川町(中学校)	2,532										
B市	5,320												
C市	4,378												
D市	6,481												
24年度の状況 と今後の方針	<p>平成24年度までの状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">PC教室</td> <td style="padding: 5px;">教師用PC1台 生徒用PC40台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">職員室</td> <td style="padding: 5px;">教師用PC5台(無線LAN)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教室</td> <td style="padding: 5px;">一校あたり1台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">普通教室</td> <td style="padding: 5px;">生徒用12台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">事務室</td> <td style="padding: 5px;">一校あたり1台</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">校内LAN</td> <td style="padding: 5px;">職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室に教師用のPCを配備 ・普通教室用の生徒用のPCを40台(ノート型またはタブレット型) ・電子黒板などの機器の充実 	PC教室	教師用PC1台 生徒用PC40台	職員室	教師用PC5台(無線LAN)	特別支援教室	一校あたり1台	普通教室	生徒用12台	事務室	一校あたり1台	校内LAN	職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み
PC教室	教師用PC1台 生徒用PC40台												
職員室	教師用PC5台(無線LAN)												
特別支援教室	一校あたり1台												
普通教室	生徒用12台												
事務室	一校あたり1台												
校内LAN	職員室 PC教室 普通教室 特別教室 において整備済み												
特記事項 (事業の沿革等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度 職員室に教師用PCを各校3台整備 ・平成13年度 PC教室に教師用PCを1台、生徒用PCを20台整備 ・平成14年度 事務室に職員用PCを1台整備 ・平成17年度 寒川中学校特別支援教室にPC整備 ・平成18年度 職員室に教師用PCを3台、インターネット用PCを2台整備 ・平成18年度 普通教室・特別教室に校内LAN整備 ・平成18年度 PC教室に新教師用PCを1台、新生徒用PCを40台整備 ・平成18年度 普通教室用にPCを12台整備(有線LAN) ・平成24年度 PC教室に新教師用PCを1台、新生徒用PCを40台整備 ・平成24年度 旭が丘中学校、寒川東中学校特別支援教室にPC整備 ・平成24年度 職員室に教師用PC5台整備(無線LAN) ・平成24年度 普通教室用に新PCを12台整備(有線LAN) 												

寒川町 平成24年度事務事業評価シート(平成23年度実施事業)

事務事業名	教育コンピューター活用事業(中学校)				体系コード	42122-04
主管課・担当名	学校教育課	根拠法令等	IT戦略本部策定の「IT新改革戦略」			
課長	三木 達夫	担当者	小貫 雅明	科目コード	01-10-03-01-006-01	

【Plan - 計画】

(1)総合計画上の位置づけ

章	豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
節	豊かな心をはぐくむ教育を進めます
項	家庭教育・学校教育の推進
小項目	学校教育の推進
細項目	教育施設の充実
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいき <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> にぎわい
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> ハード事業

(2)事務事業の概要

事業期間	開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 昭和	14年
	終了予定年度	-	
事業内容	情報化に対応した教育実現のため、教育用コンピュータの整備を推進し、その活用を図る。		

(3)事務事業の目的

目的	対象(誰(何)のために)	町立中学校3校の生徒・教員
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報化に対応した教育の実現を図るために、中学校のコンピュータ教室のコンピュータを生徒1人に1台の割合で整備しその活用率を高める。また、校内LANを整備しその活用率を高める。

(4)成果指標

成果指標(単位)、または数値化できない成果	生徒1人に1台の割合でコンピュータが整備されたコンピュータ教室設置中学校の割合(%)					
成果指標等の設定理由	IT戦略本部策定の「e-Japan重点計画」「IT新改革戦略」に基づき設定。					
目標値設定の考え方						
目標値	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	100	100	100	100	100	100

【Do - 実施】

(1)成果指標

指標(単位)	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
コンピュータ教室設置(1人1台)の割合(%)		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
数値化できない成果の達成状況													

(2)活動指標

指標(単位)	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
コンピュータ教室年間活用時間(時間/校)		100	129	129	154	200	165	170	155	170	131	120	81
校内LAN年間活用時間(時間/校)				150	138	150	153	150	167	150	209	150	126

(3)事業費 (単位:千円)

指標(単位)	年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
直接事業費		0	0	16,386	16,385	16,386	16,385	16,366	16,344	15,851	15,904	7,743	7,598
財源内訳	一般財源			16,386	16,385	16,386	16,385	16,366	16,344	15,851	15,904	7,743	7,598
	国県支出金												
	使用料・手数料												
	その他												
	執行率	*****		100.0%		100.0%		99.9%		100.3%		98.1%	
人件費		0	0	1,612	1,465	1,438	1,438	1,411	1,411	1,327	1,327	1,271	1,271
内訳	投入人員			0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.20	0.20	0.2	0.2
	平均給与額			7,325	7,325	7,191	7,191	7,054	7,054	6,637	6,637	6,353	6,353
総事業費		0	0	17,998	17,850	17,824	17,823	17,777	17,755	17,178	17,231	9,014	8,869

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

	平成23年度の改善予定	平成23年度の改善結果
妥当性	これまでの事業を継続する。	平成18年度のコンピュータ教室のリース替え及び校内LAN整備後の維持と活用に努めた。
有効性	IT戦略本部策定の「IT新改革戦略」に基づき情報機器を整備する。	コンピュータ教室及び校務用コンピュータ整備の新規リースを計画したが、実現することはできなかった。
効率性	コンピュータを活用した授業実践と校務用コンピュータの整備を推進する。	学習指導要領の移行に伴い、技術・家庭科においてコンピュータを扱う時数が減少した。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	情報化に対応した教育環境を整備し、コンピュータ教室をはじめとする情報機器の整備充実を図ることは、生徒の学力向上を目指す上で、極めて重要であると考えます。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	IT社会の急速な発展に伴い、学校教育におけるコンピュータを活用した教育の役割は益々大きくなってきている。そのため、学校のコンピュータ機器の基盤整備は、以前にも増して緊急性・重要性が高まっている。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	現在使用しているコンピュータ教室、校内LANの機器は再リースを行っており、保守について不都合を生じた。また、校務用コンピュータの整備や学習ソフトの充実等課題は多い。
効率性	事業費に無駄はないか	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	コンピュータ教室においては、生徒1人に1台の割合でコンピュータを整備し、校内LANを導入したが、学習ソフトを充実して欲しいという声が届いている。また、校務の一層のIT化を図り、教師が生徒と向き合う時間を確保することが急務と考える。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成24年度以降
妥当性	情報化教育の充実を図るため、コンピュータ教室をはじめ、情報機器の整備充実は極めて重要である。	○これまでの事業を継続する。 ○IT戦略本部策定の「IT新改革戦略」に基づき情報機器を整備する。 ○コンピュータを活用した授業実践と校務用コンピュータの整備を推進する。
有効性	IT戦略本部策定の「IT新改革戦略」に基づく現在の整備状況では不十分。事業規模の拡大が必要。	
効率性	コンピュータ教室、校内LANの活用の推進とともに、校務用コンピュータの整備を推進する必要がある。	

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	長期的な視野に立ち、整備を進めていく必要がある。教員用PCの整備を進め、教材等のデータベース化を図り3校のネットワークを構築する。

部長確認	鈴木 晴治	確認日	2012/6/21
------	-------	-----	-----------